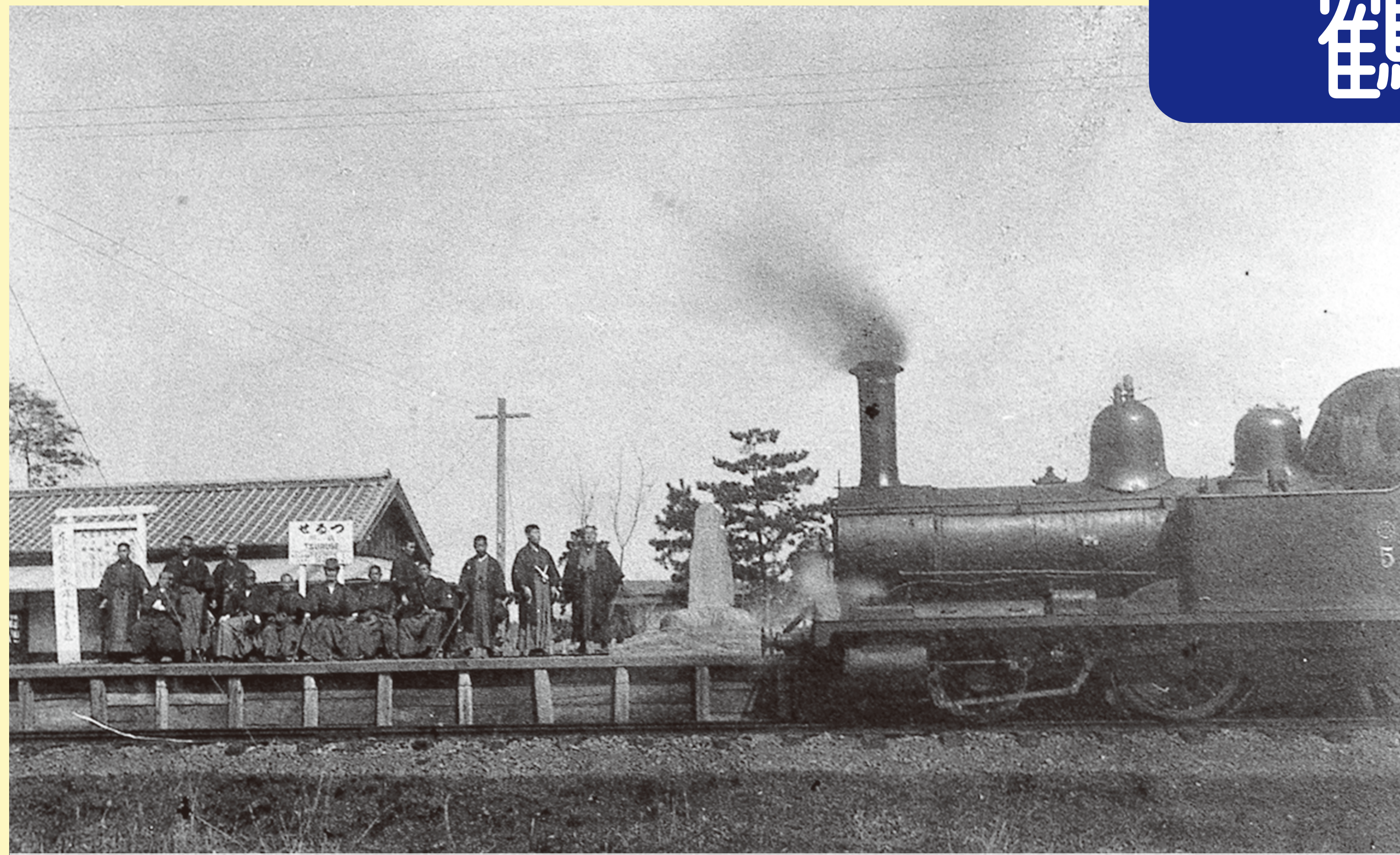


鶴瀬駅と富士見市のこれまで



大正7年（1918） 鶴瀬駅の開設に尽力した有志たちと、当時の鶴瀬駅。
1929年に池袋〜川越市間が電化されるまでは蒸気機関車が運行していた。
写真中央の石碑は「鶴瀬駅之碑」。



昭和13年（1938） 鶴瀬駅からゴボウを出荷する様子。
農業が市域の主要な産業だった時代、農作物の出荷や肥料の運送拠点として、鶴瀬駅が利用された。



昭和45年（1970） 鶴瀬駅ホームに並ぶ人々。
鶴瀬団地に入居したサラリーマンにとって、鶴瀬駅は東京への通勤口であった。

1903 明治36	1908 明治41	1910 明治43	1911 明治44	1912 大正元	1914 大正3	1915 大正4	1916 大正5	1920 大正9	1925 大正14	1927 昭和2	1927 昭和2	1929 昭和4	1951 昭和26	1954 昭和29	1954 昭和29	1957 昭和32	1973 昭和48	1977 昭和52	1980 昭和55	1987 昭和62	1993 平成5	2008 平成20	2013 平成25	2014 平成26	2023 令和5	2024 令和6
東上鉄道株式会社設立趣意書の仮免許申請書提出（起点は栗鴨）	東上鉄道仮免許状下付	東上鉄道の計画説明会開催	東上鉄道株式会社創立総会開催（起点を大塚辻町に変更）	東上鉄道第一期工事開始 ※地元有志の奔走と尽力があつて、鶴瀬駅が現在地に誘致され、周辺道路が新設された経緯が石碑に刻まれている	東上鉄道（池袋〜田面沢間）開通 鶴瀬駅開設 （田面沢は川越市〜鶴瀬間、大正5年廃止）	※中富は三芳町〜所沢市場付近に設置予定の計画 三芳人車軌道敷設申請書出願 （鶴瀬（西口）〜藤久保・北永井・上富〜中富間、5.0kmの計画）	三芳人車軌道特許認可 （大正8年8月22日特許失効）	東上鉄道と東武鉄道が対等合併	池袋〜寄居間全線開通	水谷駅（舎）開設（志木〜鶴瀬間） （昭和13年6月1日廃止）	「立川急行鉄道 我孫子線」 電気鉄道敷設免許申請書提出 （我孫子〜越谷・野々水谷・鶴瀬・多福寺・西所沢・立川間、7.5kmの計画） （昭和3年12月27日免許不許可）	池袋〜川越市間電化 （同日ききよう原信号所廃止）	鶴瀬〜上福岡間複線化 （同日ききよう原信号所廃止）	鶴瀬〜上福岡間複線化 （同日ききよう原信号所廃止）	鶴瀬団地の入居者募集開始	鶴瀬駅の駅舎が供用開始	みずほ台駅開設（志木〜鶴瀬間）	有楽町線乗り入れ	ふじみ野駅開設（鶴瀬〜上福岡間）	副都心線乗り入れ	東急東横線他と直通運転開始	鶴瀬駅開設百周年	東上線開通百周年	相鉄新横浜線他と直通運転開始	「鶴瀬駅開設の石碑」が富士見市指定文化財に指定	

富士見市内を現在走る東武東上線は、池袋から川越までをむすぶ「東上鉄道」として、大正3年（1914）に開通しました。開通当初は9つの駅が設けられており、鶴瀬駅もその1つです。駅開設から110年以上が経過した現在に至るまで、多くの人や物が鶴瀬駅を窓口としてゆきかい、地域の近代化と発展に大きな役割を果たしました。（文：富士見市教育委員会）



令和6年（2024）
鶴瀬駅ビルから撮影した東口の様子。
鶴瀬駅が開設されてから110年目の景色。

鶴瀬駅周辺の空撮写真



昭和34年（1959）



令和元年（2019）



昭和56年（1981）ごろ 鶴瀬駅と駅ビル。市民待望の鶴瀬駅西口は、駅ビルのオープンとともに、1980年に開設された。

